

事務事業名	地域産品販路拡大のためのIT人材育成事業	所属部	産業振興部	所属課	産業推進課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	地域産業支援G	課長名	福島宏芳
施策名	(32)就労環境の整備	担当者名	西村健一	電話番号 (内線)	0854-40-1052 3708
基本事業名	(094)求職者に対する就労支援	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 215 110 015 015	地域産品販路拡大のためのIT人材育成事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)	地域産品の直売に取り組む生産者及び加工業者が求めるIT技術者を育成し、市内企業による販路拡大を図るための事業(業務委託により事業を実施) ①人材育成計画の作成・実施 ②ITを活用した地域産品販路拡大のための情報発信	雲南市内で生産される農産物や加工品は少量多品目のものが多く、産直施設での販売は伸びているが、反面で大手流通に乗りにくいのが現状である。一部の生産者及び加工業者は、ITを活用して直販による販路拡大を目指しているが、ITは専門性が高いため、魅力的なPRや積極的な事業展開が難しい状況にある。 そこで、本事業を活用することにより、直販に取り組む生産者及び加工業者が求めるIT技術者を育成し、新たな雇用につなげるための事業として実施した。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
委託料 13,642千円 ■委託先名称:NPO日本エコビレッジ研究会	事業内訳						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円		13,642			
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	13,642	0	0
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費						
事業申請→公募→事業実施状況管理→実績報告	正規職員従事人数	人			2		
	延べ業務時間	時間			1,440		
	人件費計(B)	千円	0	0	5,676	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	19,318	0	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・ITスキル研修 ・農業研修 ・リーダー研修 ・新ビジネス創生研修 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 平成23年度で事業は終了	⑤ 活動指標							
		ア ITスキル研修	日			154			
		イ 農業研修	日			49			
		ウ リーダー研修	日			44			
		エ 新ビジネス創生研修	日			211			
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	就労を希望している市民	⑥ 対象指標							
	ア 求職者	人			4				
	イ								
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	IT技術を習得することができる。	ア IT技術習得者	人			4			
	イ								
	ウ								
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	市内で就労できるようにする。	ア 有効求人倍率	%	0.4	0.56	0.54			
	イ								

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比較してどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
IT技術を活用したビジネスは日々進歩しており、新たな販路を確保するためには的確な情報発信をしていくことが重要となっている。	平成23年度だけの単年度事業	インターネット通販のほか、動画配信などの情報発信に関心を持つ人や企業は増加傾向にあることから、IT技術者の育成が急務となっている。

事務事業名	地域産品販路拡大のためのIT人材育成事業	所属部	産業振興部	所属課	産業推進課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ IT技術を持つ人材を育成することによって新たな雇用を目指すものであり、施策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 失業者に対する就労支援として実施するものであり、市が関与すべき事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象者数を限定することにより、専門的な指導を集中して実施することができるため妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 平成23年度のみ単年度事業
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 平成23年度のみ単年度事業
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 平成23年度のみ単年度事業
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 平成23年度のみ単年度事業
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 平成23年度のみ単年度事業
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の実施にあたっては、ハローワークに一般公募して対象者を選定することになっているため、公平性は確保されている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	人材育成対象者の4名は、それぞれ雲南市内で就業しており、当初の事業目的を達成することができている。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
特になし																							